前回までの編集委員会で出たご意見と対応について

資料１

Ｎｏ	項目	委員会	意見	当日の回答	対応状況	現状及び今後の対応
1	関係団体とのデータ共有について	第５回	・県が関連する資料館や美術館等のデータ管理・整理はどのような状況か。	・関連する団体のデータベースにある情報が公開可能なものか含め、今年度から来年度にかけて各館と調整を行っていく。	○	・施設が所有するデータについても、必要なものは提供を依頼。 ・調査した資料については、データ、目録等を提供している。 　個人蔵資料（北川家文書）、旧役場文書（安芸市、仁淀川町など）、高知県立文学館（民話録音テープ）など
2	県史の判型・段組について	第７回	・資料編について、日記や記録類を掲載することも検討されており、カラー写真の対応について伺いたい。 ・DVDなどの附属資料について検討しており、相談させていただきたい。	・全体の刊行数や各部会の掲載資料や事情等も勘案して、調整させていただき、改めてご報告させていただく。	○	・第８回編集委員会にて判型・段組について事務局案を提示済み。なお判型について複数の印刷製本会社と協議し、第13回編集委員会にて、事務局案を提示。
3	資料の所在確認について	第８・９回	・資料の所在や情報についての情報共有をお願いしたい ・所在の調査について全体で取り組めるような体制を事務局主導で構築できないか ・所在調査の優先順位について、資料編の刊行が近いこともあり、近世が第一優先であることを理解していただきたい。また、他の部会の所在調査の際にも、近世の文書があるか等確認をしていただきたい。	・所在調査について34市町村を一巡し情報を集約、事務局の各部会担当同士で情報共有を行っている。 ・一方で合併済みの市町村については、追加調査が必要となっている	○	・合併前の旧市町村単位での調査を、令和６年度に室戸・香美地域で行ったほか、追加調査を東洋町で行った結果、前県史掲載資料が見つかった。(北川家文書)。今後も順次行っていく。 ・すでに編集作業にとりかからないといけない部会もあり、人員と予算に制限がある中、一定優先順位をつけたうえで、各専門部会の意見をふまえながら所在調査を進めていく。また、所在調査の際に他部会の資料についても確認し、情報共有を行う。 ・令和７年度は、「安永日記」「南山日録」等（津野町）、故岡内英吉氏所蔵資料（四万十町）、「森山家文書」（四万十市）などを調査。 ・令和８年より、『高知県史史料目録』や旧自治体史で確認された資料について、所在確認調査を開始（土佐清水市、大月町、四万十市実施予定）。 ・令和８年５月より、宗教系資料の調査協力を得るために、高知県神社庁や高知県仏教会を近世部会長と事務局が訪問し、協力を依頼。 →高知市春野町の弘願寺より史料情報の提供（近世後期（文化～嘉永年間）の法要など寺院関連の記録が残る）。 ・今後も引き続き、『旧県史目録』等に記載の情報を元に、資料所在調査の実施を検討する。
4	高知県史の広報について	第７・８回	・県史編さんに関係する資料や文献の所在情報等について、情報提供の呼びかけをHPに掲載できないか。 ・「高知県史」と検索して出てくるような工夫及びFacebook等SNSを利用した発信を検討いただきたい。	・情報提供の呼びかけと連絡先についてHPに掲載するようにする。 ・順次HPの拡充を行っていく。	○	・資料の所在情報については、市町村訪問時に担当職員に毎回提供依頼を行っており、HPにも掲載を始めている。その結果、情報提供も実際にあり、調査に行った事例もあり。 ・SNSについてはR6から「とさぶし」が１月に５回Instagramを発信する予定。（県史情報も含む）その他、令和６年度末より毎年の発刊を予定している「ときのあかし」についてもFacebookにて月１回、順次調査の様子等の紹介を始めている。 ・また、県史編さん室の業務報告として「ときのあかし」やＨＰにて引き続き県民向けに公開していく予定。 ・令和７年度からInstagraのアカウントを開設。Facebookと連携する形で投稿を実施。
5	資料調査の成果報告について	第９回	・調査の成果報告会について編集作業と並行での実施については負担も大きく、規模感を考えた具体的な計画が必要。 ・刊行の翌年に、成果に基づいた講演会の開催を基本スタンスとするのがよいのではないか。	・今後も具体的な案を出しながら検討していきたい。 ・各部会からも成果報告の場の要望について出していただければと思う。	○	・令和７年度は、12月７日（土）に四万十市立武道館にて成果報告会を開催。 ・33人参加。
6	編さん委員会の進め方について	第11回	・具体的な意見や注文が出るようにするためには、進捗管理を厳しくするものではなく、興味を持てる内容を盛り込むことではないか。 ・各部会がそれぞれ報告するのではなく、編集委員会で報告した内容をワンペーパーで報告したうえで、直近で注目された資料等を紹介し、質疑や議論をするのがよいのではないか。	・事務局にて具体的な構成案を検討する。	○	・第12回編集委員会にて、構成案を事務局より報告。 →各専門部会の報告について、基本的にはワンペーパーにまとめ、部会長からの報告数を絞り、質疑応答の時間を大幅に作る形で実施した結果、ご意見をいただいた。
7	人権的な配慮を必要とする事項について	第11回	・同和問題は地域によって扱い方がかなり異なるが、現在の場所を特定されるような表現は避けるということを厳守する必要がある。	・過去の事例等を第12回の編集委員会にて各委員から紹介いただく形で協議予定。	○	・第12回編集委員会以降、県史としての取扱いを協議中。 →第15回編集委員会にて、「人権的な配慮を要する事項及び個人情報等の取扱いに関する方針」を策定。

『高知県史』の掲載内容等に関する主なご要望

資料２

日時	項目	概要	要望者	関係する主な部会（予定）								対応の方向性
				古代中世	近世	近代	現代	考古	民俗	文化財	自然	
R3.11	移民関係 (旧満州,南米)	旧満州からの引揚げ、また南米移民に関して調査をしてほしい	県議会議員			○	○					・前回県史にて取り上げた項目。部会内で協議し、担当委員を選任。具体的な調査については今後検討予定。（近代） ・令和５年度に満州移民について旧西土佐村にて、令和６年度は南米移民関係について海外資料に関する資料所蔵施設に聞き取り調査を実施。（現代）
R3.11 R6.9	よさこい祭り	よさこいは高知の特色ある祭りであり、調査及び歴史について調査してほしい	県議会議員 大学職員				○		○			・県内の祭礼について、各地域にて調査中。民俗編で「まつり」を項目とし、伝統的な祭礼とともに「よさこい」を扱う案もあるが、確定されたものではないため、今後も検討を進めていく。（民俗）
R4.4	南海トラフ地震	新たな県史では、南海トラフ地震など震災関係は、どのように取り上げられるのか	編さん委員	○								○各時代の専門部会において、南海トラフ地震など災害の歴史を取り上げる。 ・本編の構成案で、古代における地震など自然災害を取り上げている。（古代・中世） ・資料編の構成案で災害関係を取り上げており、資料調査を進めていく。（近世、近代） ・災害単体ではなく「くらし」との関連の中で問題を検討していく。（現代） ・物部町の久保高井の山崩れ伝説をはじめ、災害にまつわる伝承の残る地域での聞き取り調査を行っていく。（民俗） ・柱立ての一つとして災害を取り上げ検討を行う。（自然）
R4.7	仁淀川水系の 水害	日高地区の水害の歴史について取り上げてほしい（鎌田堰の影響による洪水発生、村に明治以降の治水関係資料あり）	日高村		○	○	○	○		○		
R4.9 R8.7	大寺廃寺	高知市春野の大寺廃寺について、本県の古代史の解明が期待できるため、発掘等の調査をしてほしい	春野文化財友の会 県議会議員	○				○				・県内の古代寺院については、古代・中世、考古において、地元自治体と連携しながら調査の検討・部会協議を進めていく予定。（事務局）
R4.10	ビキニ環礁被曝	新たな県史編さんにあたり、被災の実態を県としても調査・記録し、後世に広く伝えるよう記載してほしい	県議会議員				○					・ビキニ被災に限らず、重要な戦後の歴史を取り上げていく。（事務局） ・令和５、７年度に宿毛市、令和６、７年度に室戸市にて調査実施。（現代）
R4.10	幡多地区の歴史	高知市中心の歴史だけではなく、幡多の歴史も取り上げてほしい（文武館、法然上人、迅衝隊など）	樋口真吉 顕彰会	○								・令和５年度に、幡多地域をフィールドとした資料調査を実施。（近世）（現代）（民俗） ・令和６年度以降も調査実施予定しており、既に令和６年度近代部会の合同調査では四万十市の郷土博物館や土佐清水市の議会事務局等で調査を実施した。（古代・中世）　（近代）（考古） ・現代資料編では、高知県西部(主に幡多地域)に焦点をあてた構成を検討している。
R5.4	昭和の教育	昭和時代の本県の教育史を知る方は年々少なくなっており、昭和の教育史に力点を置いてほしい	高知新聞 オピニオン			○	○	○		○		・令和４年度に県立高知小津高等学校の資料調査を実施。（近代） ・令和５年度に県立高知工業高等学校及び県立春野高等学校の校友会資料、土佐清水市旧大津小学校資料の調査を実施。（近代）（現代） ・令和６年度には土佐女子中学高等学校、市立高知商業高等学校の資料調査を実施。（近代）
R5.10	海外資料の調査	資料調査活動を県内にとどまらず、海外も視野に入れて積極的に行ってほしい	県議会議員	○								・本県に関する資料が海外にも所在することを把握している(戦争関係資料など)。そこで、現地の県人会などの協力のもと情報を収集し、必要性を精査したうえで海外調査を検討したい。
R6.6	無形の文化財の 記録化	伝統工芸などの貴重な技術を次の世代に引き継ぐために、(製作過程などを)動画で残すなど、早く調査してほしい	県議会議員						○	○		・調査における資料採取は、できる限り写真や動画などデジタルデータで収集・保存している。 ・伝統工芸など無形の文化財は、関係の専門部会で協議のうえ調査を進めるが、収集したデジタルデータは、将来的に公開を検討しているデジタルアーカイブで共有するなどにより、次の世代への継承につながるよう取り組んでいきたい。

『高知県史』の掲載内容等に関する主なご要望

資料２

日時	項目	概要	要望者	関係する主な部会（予定）								対応の方向性
				古代 中世	近世	近代	現代	考古	民俗	文化財	自然	
R7.4	文化史や宗教史の掲載	文化史、特に文学史を取り上げてほしい。宗教史（四国遍路や県内の宗教の広がりなど）も取り上げてほしい	県議会議員	○								○宗教や文化に関する資料は、各時代の専門部会で取り上げていく計画。 （例） ・資料編２に宗教や文学の史料を収載。（古代・中世） ・資料編２・３に宗教・文化の史料を収載。（近世） ・資料編に「宗教と文化」の章を立て、資料収載予定。（近代） ・資料編に「教育・文化」の項を立て、資料を収載予定。（現代）
R7.9	自由民権活動家の調査	山嶽社、和田三郎について調査をしてほしい	編さん委員			○						・和田三郎や山嶽社の活動については、資料編１、資料編２で取り上げていく。通史編においても、取り上げていくことを検討。
R7.9 R8.9	高校教員を対象とした見学会・研修会	高校生、大学生だけはなく、歴史を担当する若い職員たちへの研修や見学の機会を設定してほしい。 高校教員が興味、関心を持てるような取り組みを進めてほしい	編さん委員	事務局								・令和７年度に実施した高校生の見学受け入れ時に、職員が計４名参加。 ・県立学校長会議、高知市立学校長連絡協議会、高知県市町村教育長会議にて当事業の概要を周知。 ・また、教職員に対し、県史編さん事業の周知を実施 （参考）R7年度：高知小津高校、高知北高校、高知国際高校、高知学芸高校、土佐高校、土佐女子高校へ訪問 R8年度：高知丸ノ内高校、春野高校、高知東高校、岡豊高校へ訪問、土佐塾高校へチラシ配布 ・令和８年度に実施した高校生の見学受け入れ時に、職員が計２名参加（R8.10月末時点）。 ・高知県市町村教育委員会連合会研修会にて、当事業の概要を周知（資料配布）。
R7.10	「部落問題」の取り上げ方について	全体の部落問題の取り上げ方について、記載方法としては、差別の拡散ではなく、差別解消的な記述方法を求められる必要があり、その方向性を明確にすること。	県議会議員	編集委員会／事務局								・県史編さんでは、同和問題をはじめとする人権全般について「高知県人権施策基本方針」に則った「人権的な配慮を要する事項及び個人情報等の取扱いに関する方針」を策定している。今後の県史編さんにおいては、策定した方針に沿って進めていく予定である。
R7.10	「部落問題」の取り上げ方について	「部落問題」の取りあげ方について、「近世」から「現代」までを貫く位置づけが必要であり、現状において、当事者団体、関係団体（個人を含む）との協議がなされておらず、相談・協議とまではいかなくとも、最低限、意見聴取とそれに対するフィードバックが必要ではないか、そのあり方と反映の仕方について明確にすること。	県議会議員	編集委員会／事務局								・『高知県史』は本県の歴史を学術的に記述するものであることから、各専門部会において、必要に応じて有識者の協力を得て検討を進めている。その検討は各専門部会において、担当する時代・テーマごとに進めており、現時点では、特定の課題を横断的に取り上げていない。 ・同和問題をはじめとする人権全般の課題については、これまでの協議やいただいた要望も踏まえ、県史編さん編集委員会として十分に議論した上で「人権的な配慮を要する事項及び個人情報等の取扱いに関する方針」を定め、その叙述について慎重に取り扱うこととした。 ・方針や県史の検討状況は、その都度ホームページに掲示している。県史事業に対するご意見や要望は、ホームページなどで随時受付けており、いただいた意見・要望は事務局で集約のうえ、編さん委員会・編集委員会で検討し、その結果をホームページに公表している。

資料３－１
令和８年 10 月 30 日
第 16 回高知県史編さん編集委員会　20261030

古代中世部会　活動報告

（１）部会など会議の開催

○第１回 中世史料校正作業確認会　７月 13 日(月) ９時半～

＊編年総合目録の整備状況の共有

＊各担当委員による校正作業状況の確認

○第２回 中世史料校正作業確認会　９月 10 日(木)12 時～

＊第１回確認会における内容の継続協議

○考古・文化財・古代中世部会における協議　９月７日(月)15 時～

＊金石文等の取扱いに関する打ち合わせ(第１回目)

（２）史料調査等

＊事務局調査

・高知城歴史博物館(「山内家長帳」８月３日)

・「長宗我部元親・盛親連署印判状」「長宗我部盛親判物」（宇賀家文書）

９月 20 日：高知城歴史博物館と連携して調査を実施

（３）資料編編纂にむけた作業状況

○事務局における作業

＊古代史料の校正

森委員作成のデータ 430 件分の校正作業を完了

＊資料編３所収予定の長宗我部関連史料の抽出作業

『徳川家康文書』中巻・下巻からの抽出作業など

○史料編纂所における作業（受託研究）

＊統合文書目録の整備（別添参照）

約 2500 点の収録文書データについてメタデータ整備を継続

・・データ追加作業(皆山集、南路志、土佐国群書類聚、土佐国編年紀事略など)

・・重複データの削除、史料所在（旧所在）地の確定、所蔵者情報の統合

➡郡別・家別に編成するための基礎作業

＊資料編１収載予定のテキストデータの作成

統合文書目録収載分のうち、約 700 点分のデータ生成・１次校正を完了

➡担当委員による２次校正（史料デジタル画像ほかとの校合など）へ

＊考古部会・文化財部会との担当調整作業

旧県史収載の金石文・棟札・奥書（870 点）の統合表を完成（下記参照）

9 月から部会間の担当範囲につき調整作業開始

＊中世史料の校正原則の検討

委員による校正作業を通じて、校正原則の調整・修正を進めている。

（4）今後の予定など

○今後の調査予定

・東京国立博物館：10 月 20 日に香宗我部家伝証文 4～6 巻の熟覧調査を予定

・水戸市立博物館：年度末に再度委員による調査を企画

・みとよ未来創造館：秋山家文書の継続調査につき、香川県側と調整中

○資料編 1 収載予定史料のテキストデータ生成強化

・新規作業者を確保、データ生成の強化へ（年度内に 500 件程度を予定）

・資料編 1 収載史料テキストの委員による校正作業の強化（次回確認会は 12 月を予定）

・未デジタル化史料のデータ生成強化（年度内に 300 件程度を予定）

○資料編 2 にむけた作業

・統合表の県外データの追加・確認

・非文書・記録資料の収載範囲の確定とデータ化

○資料編 3 にむけた長宗我部関係史料の収集強化

関連史料の検出作業を推進し、収載範囲や収載方針の確定を図る。

	no	収	高	和暦	西暦コード	文書名	所蔵先	重複	備考1（現住	備考2（原資料、写真デー	列	巻	頁
1	2109	古	2	弘仁1年2月日	8100020550	夜須村八幡宮般若経奥書	夜須村八幡宮	脱1				24	
1	**1948**	**脱**	**1**	**弘仁1年2月**	**8100020550**	**夜須村八幡社般若経奥書写**	**香美郡夜須村八幡宮**	**古2**	**現：香南市**			**1**	
2	1949	脱	2	貞観2年2月吉日	8600020550	勇武略集奥書写	井口村山岡氏	古1188	現：高知市			1	
2	**3285**	**古**	**###**	**貞観2年2月吉日**	**8600020550**	**勇武略集・天然集等奥書**	**土佐郡井口村山岡敦之丞**	**脱2**				**1**	
3	938	拾	2	延喜11年□月9日	9110550090	弥勒寺鐘銘写	幡多郡寺山	古4				1	
3	**2111**	**古**	**4**	**延喜11年1月9日**	**9110010090**	**半鐘銘**	**幡多郡寺山延光寺**	**拾2**				**1**	
4	2112	古	5	天暦10年2月日	9560020550	鐘銘	長岡郡吸江寺	拾3				1	12
4	**939**	**拾**	**3**	**天暦10年2月**	**9560020550**	**遠台寺鐘銘写**	**土佐郡吸江寺**	**古5**				**1**	
5	2113	古	6	応和3年3月日	9630030550	鰐口銘	高岡郡高岡村天崎ノ社熊野権現					1	
6	2114	古	7	寛弘5年2月8日	10080020080	碑文	高岡ノ郡浦ノ内出見村千光院	脱3				1	
6	**1950**	**脱**	**3**	**寛弘5年2月8日**	**10080020080**	**出見村千光院花山天皇尊牌**	**高岡郡出見村千光院**	**古7**	**現：須崎市**			**1**	
7	1283	木	1	寛治1年5月	10870050550	夜須八幡宮阿吽面墨書銘写	香我美郡夜須八幡宮	古9					
7	**2116**	**古**	**9**	**寛治1年5月日**	**10870050550**	**能面銘**	**香美郡夜須村八幡巌**	**木1**				**1**	**6**
8	940	拾	4	永久4年2月5日	11160020050	長楽寺薬師像胎内銘写	我美郡手結浦長楽寺	古10				1	
8	**2117**	**古**	**10**	**永久4年2月5日**	**11160020050**	**胎内木札銘**	**香美郡手結村長楽寺本尊薬師佛**	**拾4**				**1**	**13**
9	1284	木	2	保安3年8月11日	11220080110	横倉山八角鉄桶墨書銘写	高岡郡横倉山	脱4・古1	現：越智町			1	
9	**1951**	**脱**	**4**	**保安3年8月11日**	**11220080110**	**越知村横倉社宝器銘**	**高岡郡越知村横倉社**	**木2・古**	**現：越知町**			**1**	
9	**2119**	**古**	**12**	**保安3年8月11日**	**11220080110**	**宝器銘**	**高岡郡佐川越知村横倉社**	**木2、脱4**				**1**	**14**
10	1	蠹	1	仁平元年8月4日	11510080041	土佐国豊楽寺造像智識銭注文写	長岡郡豊永郷豊楽寺		国重文指定 薬師如来像胎内名ならん			2	
11	2122	古	15	寿永2年1月日	11830010550	本地仏裏書	高岡郡多郷村賀茂社	脱5				2	
11	**1952**	**脱**	**5**	**壽永2年1月日**	**11830010550**	**多郷賀茂社本地仏裏書**	**高岡郡多郷村賀茂社**	**古15**	**現：須崎市**			**1**	**17**
12	2125	古	18	文治2年2月15日	11860020150	宝器銘	高岡ノ郡佐川越知村横倉ノ社						
13	2130	古	23	元久1年11月21日	12040110210	棟札	幡多郡小野村祇園社					2	
14	2136	古	29	貞応3年2月日	12240020550	大般若経巻十書写奥書	平道家					1	19
15	943	拾	7	嘉禄1年12月5日	12250120050	高福寺鐘銘写	吾川郡長濱雪蹊寺	古31				1	24
15	**2138**	**古**	**31**	**嘉禄1年12月5日**	**12250120050**	**鐘銘**	**吾川ノ郡長濱村雪蹊寺**	**拾7**				**1**	**21**
16	2139	古	32	嘉禄2年5月5日ヵ	12260050051	古厨子裏書	高岡ノ郡奥浦村鳴無ノ社					1	20
17	1288	木	6	寛喜3年9月29日	12310090290	（魚梁瀬村）成福寺棟札銘写	魚梁瀬村成福寺	古1141	現：馬路村			1	24

資料３－２
令和８年 10 月 30 日
第 16 回高知県史編さん編集委員会

近代部会活動報告（2026 年 6 月～10 月）　　20261030　　近代部会長羽賀祥二

１，部会・作業状況報告会の開催

（1）第 18 回部会：7 月 4 日（土）９時 30 分～　　於高知大学人文社会科学部（オンライン併用）

・資料翻刻の状況（各委員ごと）
・掲載資料の原稿の作成について（翻刻原稿の赤入れ、資料選定、綱文案の作成など）
・人権関係資料の取扱い
・今年度後半期の編集スケジュールの確認

（2）作業状況報告会：同日

・各委員から担当領域の作業状況の報告
・目次案の報告

（3）第 19 回部会：10 月 7 日（水）11 時～12 時半　　於京都大学人文科学研究所（オンライン併用）

・資料撮影と翻刻の進展状況
・原稿入稿（2027 年 5 月）までの編集スケジュールの確認（本文、解説、資料解題など）
・来年度の予算の要望
・翻刻原稿の赤入れの要領及び資料編２の「凡例」の検討
・この間の人権問題に関する協議の内容及び部落史資料の原稿を検討しながら、掲載（部落地名・人名など）の原則に関する近代部会の方針を協議する

（4）作業状況報告会：10 月 6 日､7 日　　於同所

・第１次掲載資料候補案の提出と選定方針などの報告
・章､節､項の提案

２，合同資料調査の実施：９月３日～６日

・高知市立自由民権記念館　　９月３日､４日
「個別受け入れ資料」の内各委員が希望した資料を閲覧、撮影に廻す
・オーテピア高知図書館　　９月４日～６日
「特設文庫」の内､「布師田村資料」「朝倉村資料」「一宮村資料」「三里村資料」「長浜村資料」などを閲覧、撮影に廻す
・両者とも撮影を随時実施し、クラウドに登載している

３，今後の予定

・11 月 10 日（火）、11 日（水）　　中土佐町の「中土佐町役場倉庫資料」（170 点、戦後資料も含む）の調査
時間的な制約もあるので、資料編２に関係する簿冊の閲覧と撮影を実施する予定
・12 月 26 日（土）10 時～　　第 20 回部会（オンライン）

近代資料編2　目次構成案　（2026年10月7日）		
第1章　政治・行政	第1節　県郡行政	1調所広丈県政期から渡辺融県政期　2宗像政県政期から石原健三県政期　3杉山四五郎県政期から柿沼竹雄県政期
	第2節　市町村行政	1市町村制施行期　2日清・日露戦争期　3地方改良運動期
	第3節　政治	1初期議会期の政治状況　2日清・日露戦争期の政治状況　3日露戦争後の政治状況
第2章　戦争と社会	第1節　徴兵制の定着	
	第2節　日清戦争	1概況　2銃後の社会
	第3節　歩兵第44聯隊の設置	
	第4節　日露戦争	1歩兵第四十四聯隊の動向・戦況　2銃後の社会　3戦後の兵事行政
	第5節　第一次世界大戦	1兵事行政
	第6節　シベリア出兵	1歩兵第四十四聯隊・第六十二聯隊の動向　2銃後の社会　3兵事行政
第3章　疾病・災害と地域管理	第1節　警察・消防	
	第2節　郵便、電信、電話、裁判所	
	第3節　衛生・医療	1伝染病の流行とその予防　2医療の普及
	第4節　災害と救済	11890年風水害　21899年風水害　31911年風水害　4その他の風水害
	第5節　治水と砂防	1伊尾木川筋の治水工事　2諸河川の治水工事　3水害予防組合　4流木への対応　5甫喜峯疎水工事　6治水調査　7港湾の砂防対策
	第6節　海難事故	
	第7節　地震・気象	1地震　2気象
	第8節　他地域の罹災民の救済	11896年三陸地震津波　21898年北海道風水害
	第9節　日記に見る災害	
第4章　産業・経済	第1節　土佐の農山村経済	1農家経営　2地主小作関係　3農林業の概要　4農業　5農家副業　6農業団体　7農家基盤の整備　8林業
	第2節　土佐の漁業経済	1漁業　2水産加工
	第3節　土佐の近代工業	１軽工業　２重工業
	第4節　インフラの発展	1鉄道・軌道　2道路　3港湾・海運　4電気・ガス
	第5節　商業と金融	1商業　2金融
	第6節　経済思想	
第5章　社会・社会運動	第1節　初期社会主義と幸徳秋水	（演説会、書簡、土佐平民倶楽部、大逆事件、事件以後）
	第2節　被差別部落	
	第3節　女性史	（社会進出、婦人会、廃娼、戦争と女性、日露戦後の婦人会、婦人団体調査、婦人選挙権、実業教育、遊郭移転）
	第4節　米騒動	
	（第5節以下　検討中）	（労働、青年活動等）
第6章　教育	第1節　小学校教育の拡大	1小学校令下の動向　2地域と小学校
	第2節　小学校卒業後の学校	1実業補習　2女子中等教育　3男子中等教育
	第3節　多様な教育機関	1旧制高校への道　2教員養成　3就学前教育　4医学教育　5特殊教育　6社会教育と褒賞
	第4節　教員の組織活動と個々の実践	
第7章　文化	第1節　史蹟名勝の調査	1史蹟名勝の調査　2宝物調査
	第2節　史蹟名勝の保存	1為松山の古城跡　2紀貫之の邸蹟　3天皇・親王の墳墓　4その他の史蹟　5名勝の保存　6寺石正路日記
	第3節　功労者の顕彰	1野中兼山　2山内一豊　3深尾氏　4武市瑞山・坂本龍馬・中岡慎太郎　5土佐勤王党関係者　6堺事件関係者　7板垣退助・後藤象二郎　8近世の学者　9孝子節婦の顕彰
	第4節　歴史書の編さん	1郷土史編さんの動き　2土佐史談会の設立と活動　3高知県史の編さん　4史料収集　5史論
	第5節　図書館	1土佐図書倶楽部　2図書館開設への動き　3高知県立図書館　4私立図書館　5中城直正日記
	第6節　公園の開設	1高知公園　2埋立公園　3帰全山公園　4その他の公園
	（第7節以下検討中）	（メディア、文学、芸能、スポーツ等）
第8章　宗教と皇室	第1節　宗教法令	1神社と寺院　2宗教への統制
	第2節　神社と神職	1神祇への崇敬　2神社制度　3神職　4神社合祀　5藤並神社
	第3節　寺院と仏教	1寺院をめぐる動向　2仏教による教化活動
	第4節　キリスト教と教会活動	1高知教会　2日本基督教会の教会・講義所　3土佐基督教会　4高知県下の伝道活動　5片岡健吉の追悼
	第5節　日記に見るキリスト教徒	1細川義昌　2安藝喜代香
	第6節　教派神道の布教	1出雲大社教　2天理教
	第7節　宗教論	
	第8節祭礼の様相	
	第9節　皇室と高知県民	1皇族の来訪　2天皇の代替　3祝祭日　4国民教化
第9章　人々の移動	第1節　高知殖民協会と北海道移住	1高知殖民協会　2北海道移住
	第2節　「勢力圏」内への移動	1韓国併合時代の朝鮮半島への移民　2樺太への移民
	第3節　海外渡航と移民の保護	1旅券の下附　2移民の保護　3移民数の把握　4移民取扱人
	第4節　「勢力圏」外への移動	1北米への移民　2ハワイへの移民　3メキシコへの移民　4ブラジルへの移民
第10章　特論	第1節　山内家・旧家老家	（項目は検討中）
	第2節　四国霊場	1巡礼　2竹林寺　3霊場寺院
	第3節　土佐論・土佐人論	1土佐論　2土佐人論
	第4節　紀行文	
解説		
資料解題		
凡例・目次・口絵		
資料提供・掲載資料一覧		

資料３－３
令和８年 10 月 30 日
第 16 回高知県史編さん編集委員会

現代部会の調査および編集に向けた対応状況について

令和８年 10 月 30 日
高知県史編さん現代部会
正副部会長

１　専門部会等の実施状況

（１）第 14 回専門部会（令和８年８月 30 日実施）

①資料編１の目次構成

目次案を各担当で再確認しおおよそ確定

②人権問題及び個人情報に関する資料の取り扱い

資料掲載時の懸念点について協議（3 回目、今後も協議を継続）

③資料編２・３の構成

各分野について調査状況や担当希望箇所について確認

④資料編１の体裁

内容構成や執筆要領について協議

令和８年度 12 月部会にて原案を提示予定

（２）資料説明会（令和８年８月 31 日実施）

①資料編１の最終編集に向けて、時間をかけた資料説明会を開催し、資料編１について部会で共有

各担当頁数の２倍分量の資料選定を行い、資料について説明し、意見交換を実施（説明 30 分、質疑応答 10 分）

②資料説明会から確認できた資料編１の特徴

・資料編 3 冊を通して、第 1 部県全体、第 2 部地域の構成にする
・資料編１の県全体は、重点方式の収録とし（資料編２・３は網羅方式）、そのなかでも以下の特徴がある
　＊政治については、県政中心に網羅的な収録ができた
　＊地域（開発・過疎）と自然・災害の関連が分かる構成に資料収録
　＊高知の特徴である駐在保健婦をはじめ、保健・福祉の資料収録
　＊教育は、勤評以外に、へき地教育・女性教員（母親運動）収録
　＊移動と移民、同和問題についてまとめて収録
・第 2 部地域は西部として、以下を収録
　＊第 2 部は、敗戦後から現在まで、また聞き取りの収録も可能であり、西土佐については、満州分村移民、引揚げ、中国残留孤児の調査と帰国から、西土佐のくらしと地域づくりにかかわる山村振興計画、健康学習、満州体験の継承、現在の道の駅での取り組みにまで至る長期にわたる資料収録。自治体史の資料編でもこのような構成

と内容は珍しく、高知の特徴を資料でよく反映しているように思う。

＊幡多ゼミナール、砂浜美術館の黒潮町など、特徴的な取り組みの資料も収集

＊「地域の生態に根ざした生業」として、山・川・海の資料収録

２　資料編第１巻の進捗状況と今後の予定

（１）頁分担及び目次：おおよそ確定（今後は細目次についても検討）

（２）体裁及び執筆要領：令和８年度中に確定予定

（３）今後の予定：掲載資料の選定を進め、令和９年９月末には確定予定

３　調査状況(令和８年度６月～９月)

・個別調査：県内公的機関(市町村役場、農業技術センター、県立盲学校等)、県内団体等への資料調査(四万十町職員労働組合、県農協、高知放送等)、個人の方への聞き取り調査(医療関係、帰全農場等)

・成　　果：窪川原発に関する資料、昭和 40 年代～50 年代の園芸関係資料等を収集することができた。また、勤評闘争時代に教職を務めていた方のご自宅(仁淀川町)にて県内委員全員で調査を実施し、勤評闘争の資料の他、大渡ダムや沢渡茶等、多岐に渡る資料を収集した。高知放送では、当時放送された、パラグアイ移住を計画した物部村村長の活動記録の映像等を視聴。村の様子や村民の移住に対する反応を実証的に把握することができ、知識理解が深まった。

・今後の予定：県東部の中でも安芸郡、旧香美郡への調査を実施予定。

４　今後の予定

（１）第 15 回部会(12 月オンラインで実施予定)

（２）第 16 回部会(３月実施予定)

資料３－４
令和８年 10 月 30 日
第 16 回高知県史編さん編集委員会

テーマ「旧石器時代の編集完了と部会を越えた情報共有」

１、調査・会議・広報等の履歴と予定

７月 26 日：部会活動報告（高知考古学研究会）
７月 30・31 日：乾の大墓（南国市）
８月３・４日：江師（えし）遺跡（四万十町）出土縄文土器、県内縄文遺跡出土物調査（埋文センター等）
８月 20 日：浦戸湾の歴史的景観復原についての提案（高知市）
８月 24～27 日：舟岩古墳群・龍河洞等出土鉄製品の実測（歴民館等）
９月７日：編さん委員会、古代中世部会・文化財部会との調査分担協議
９月８日：戦争遺跡・３次元アーカイブ協議
９月 14 日：リモート部会
９月 14 日～石造物基盤情報整備
９月 24 日：自然科学分析リモート協議
10 月～　戦争遺跡基盤情報整備（約 100 カ所）、活用資源としての３次元アーカイブ（約４点）、自然科学分析（約 140 点）
10 月３日：野中廃寺史跡指定記念シンポジウム（南国市）
10 月４～６日：塼仏の３次元デジタイズ・国分寺の準備調査、横倉山、土佐市谷地
10 月４日：戸島周辺（須崎市）、観正寺跡（高知市）
10 月５日：自然化学分析リモート協議
10 月 10・13 日：乾の大墓（南国市）
10 月 11・12 日：名古屋城の石切場（大月町）
10 月 17・18 日：貿易陶磁器（四万十市・中土佐町・土佐市）
10 月 30 日：県史編集委員会
10 月 31 日：大高坂城下の歴史的景観復原①（高知市）
11 月６～９日：加茂ハイタノクボ遺跡（香美市）、深渕遺跡・亀山窯跡（香南市）、馬場末遺跡出土瓦（県埋文センター）、横瀬高尾山・横瀬高尾山（四万十市）
11 月８日：令和８年度第５回考古部会（対面）
11 月９日：土佐藩山内家墓所出土遺物（埋文センター）
11 月 14 日：土佐藩参勤交代北山道を遊く講演会（南国市）
11 月 15 日：土佐藩参勤交代北山道を遊くウォーキングイベント（南国市）
12 月１・２日：田村氏古墳墳丘・石室測量調査
12 月１・２日：科学分析（予定）
１月 10 日：大高坂城下の歴史的景観復原②（高知市）
１月 11 日：部会活動報告（埋文センター）

1月12日：香山寺（四万十市）

2月20日：香山寺報告会（四万十市）

※山城調査の予定を調整中

2、調査報告

（1）縄文時代遺跡　　草創期・早期（奥谷南遺跡）、中期（奥谷南遺跡・田村遺跡群）、後期（江師遺跡・居徳遺跡群）

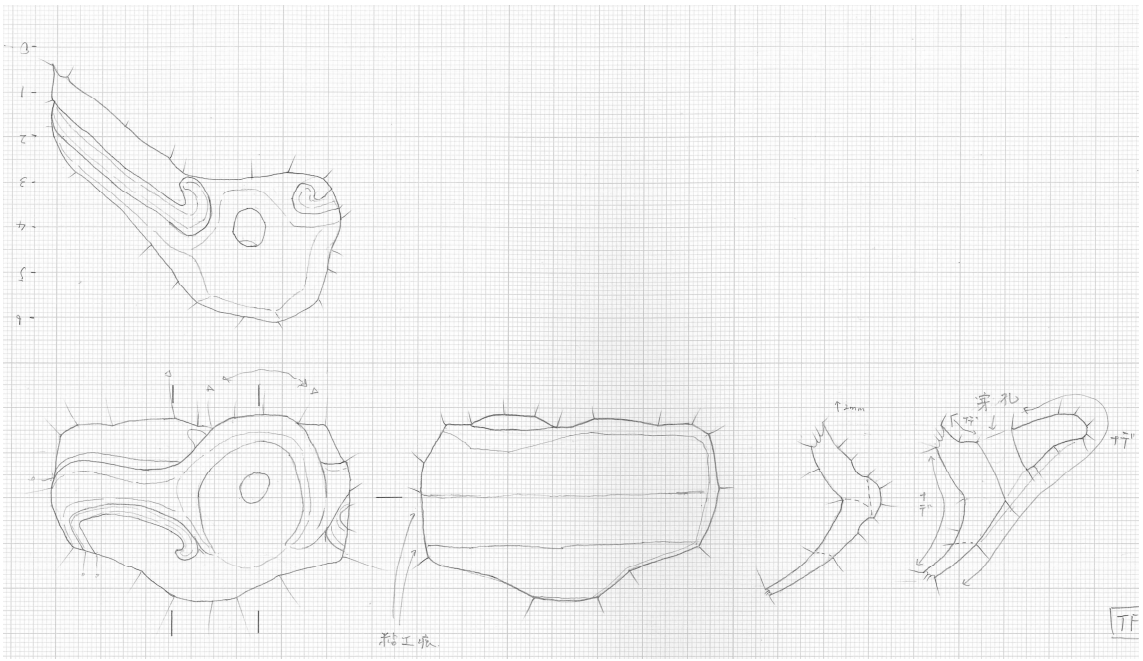
【草創期】現時点においては、草創期のものとして確実な土器は十川駄場崎遺跡の豆粒文土器である。しかし、近年の研究成果によると、豆粒文土器は隆起線文土器のヴァリエーションの一つである可能性が高いことから、十川駄場崎遺跡のものについても注意を要する。

【早期】当該期の土器編年観は、基本的に大分県二日市洞穴に則して考えるのが適切。○後葉は、奥谷南遺跡にて南九州系の天道ヶ尾式（てんどうがお）と平栫式（ひらがこい）。末葉は、アカホヤ火山灰の直下で見られる九州系の轟A式。

【前期】基本的に、瀬戸内編年に則して考えるのが適切。

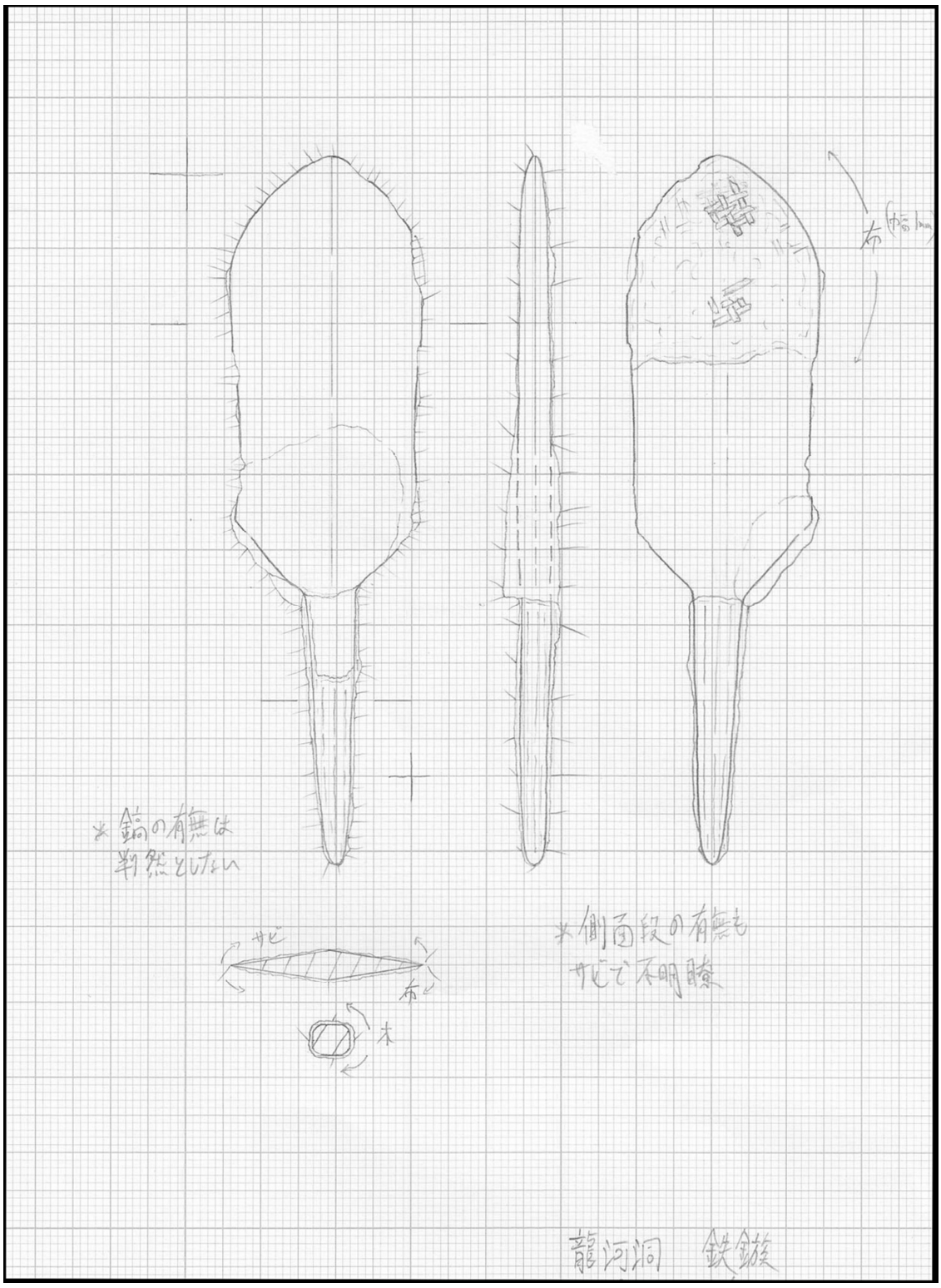
【中期】基本的に、瀬戸内編年に則して考えるのが適切。中期末については、田村遺跡群と奥谷南遺跡のものがあり、後者の方が新しい。

【後期】当該の土器編年観は、中津式→宿毛式（福田ＫⅡ式併行）→松ノ木式（四ツ池式・芥川式併行）→なつめの木式（北白川上層1期）→平城2式（北白川上層2期）→北白川上層3期併行。四万十市大正に所在する江師（えし）遺跡は、後期前半の土器と石錘の組み合わせが確認できると共に、双耳壺（下図）が出土するなど興味深い遺跡である。



（2）古墳時代遺跡

8 月 24 日～27 日　高知県立歴史民俗資料館において舟岩古墳群・小蓮古墳・蒲原山東 1 号墳・新改古墳・龍河洞（下図）・西ノ内 2 号墳の鉄器約 100 点を実測、写真撮影。鉄鏃を中心として馬具は宮代・栗林 2004 論文不掲載のもののみ実測した。



3、編集報告

（1）執筆要項案の策定

Ⅴ章　縄文時代

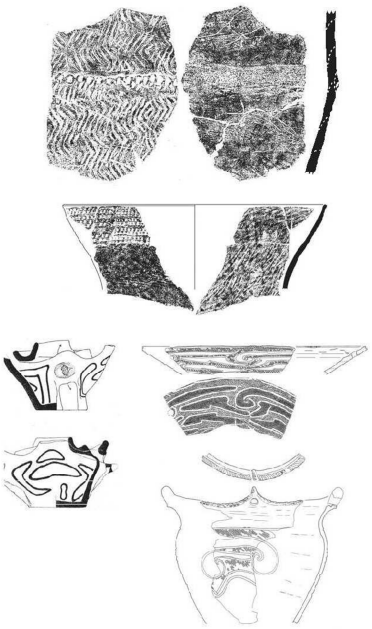
1節　高知県の縄文時代年代観

縄文時代は、約16,000年前の土器の出現をもって始まり、約2,500年前の水田稲作の開始と農耕社会の成立をもって終わる時代である。約10,000年の時間幅を持つ、日本史の中で最も長く続いた時代でもある。しかし、地方によって異なりが認められ、その異なりについての研究が今なお続いている。

縄文時代の研究は、この時間幅について、草創期・早期・前期・中期・後期・晩期の６つの時期に区分（通称“六期区分”）して進んできた。本県史もそれに従って年代観を示すこととするが、発掘調査において炭素14年代測定が行われている場合は、その測定値を提示する場合がある。

表　縄文時代六期区分と高知県内外の代表遺跡

炭素年代	時期	県内の代表遺跡	県外の代表遺跡
約16,000年前～	草創期	十川駄場崎遺跡	上黒岩岩陰遺跡（愛媛県） 福井洞窟（長崎県）
約10,000年前～	早　期	不動ガ岩屋洞窟 刈谷我野遺跡	小鳥島貝塚（香川県） 東名遺跡（佐賀県）
約7,200年前～	前　期	東木遺跡 チドノ遺跡	彦崎貝塚（岡山県） 轟貝塚（熊本県）
約5,500年前～	中　期	片粕遺跡 奥谷南遺跡	船元貝塚（岡山県） 里木貝塚（岡山県） 三内丸山遺跡（青森県）
約4,700年前～	後　期	宿毛貝塚 片粕遺跡 田村遺跡群 松ノ木遺跡	平城貝塚（愛媛県） 津雲貝塚（岡山県） 横尾貝塚（大分県） 大森貝塚（東京都） 加曽利貝塚（千葉県）
約3,400年前～	晩　期	鴨部遺跡 倉岡遺跡 居徳遺跡群	亀ヶ岡石器時代遺跡（青森県） 大洞貝塚（岩手県） 菜畑遺跡（佐賀県） 板付遺跡（福岡県）



2節　高知県の縄文時代遺跡

高知県内の縄文時代遺跡は、現時点において○○○箇所である。物部川以西に多く所在する傾向があるが、これは行政措置として行われてきた埋蔵文化財（通称“遺跡”）の分布調査や、道路や河川改修などの開発行為に大きく影響されていることに起因する。これからの分布調査や開発行為によって、物部川以東に所在する海や川によって形成された段丘や、川によって形成された自然堤防において、縄文時代遺跡の発見に期待することができる。

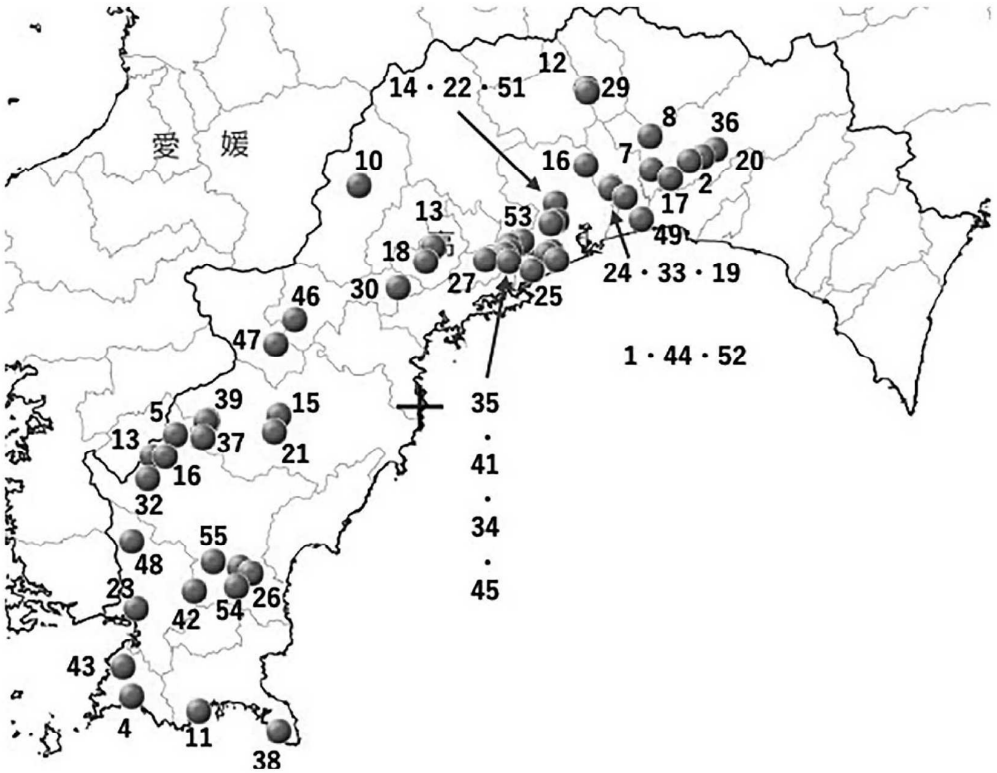
縄文時代遺跡の内、発掘調査が行われたのは○○箇所で、○○箇所については集落遺跡、○○箇所については生業に係る遺跡などといった、遺跡の性格の違いが明らかになっている。また、宿毛貝塚（宿毛市）と不動ガ岩屋洞窟（佐川町）は国史跡として指定されている。

遺跡の立地は、四万十川と仁淀川そして物部川の河岸段丘上に形成されたものが目を引くが、鏡川や甲殿川の埋没した自然堤防上に形成されたものもあり、近年調査が行われた南国市の板部遺跡は、物部川の埋没した自然堤防上に形成されている。後期を中心に、自然堤防に集落が営まれた可能性が高い。埋没した自然堤防は現地形では判断しずらいため、丁寧な事前調査が求められる。

さて、本県史では、高知県内の主たる縄文時代遺跡として○○遺跡を挙げた。主に、発掘調査が行われて遺跡の性格が明らかになっているものを抽出した。しかし、これら以外にも重要な遺跡はあることから、それらについては本章末の総括で触れることとする。

表　高知県内の主たる縄文時代遺跡一覧

番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名
1	山根遺跡	21	江師遺跡	41	林口遺跡
2	刈谷我野遺跡	22	鴨部遺跡	42	ツグロ橋下遺跡
3	卓木遺跡	23	宿毛貝塚	43	ナシヶ森遺跡
4	尻貝遺跡	24	奥谷南遺跡	44	西分増井遺跡
5	江川中畝遺跡	25	上ノ村遺跡	45	倉岡遺跡
6	ヲキショウジ遺跡	26	中村貝塚	46	北川遺跡
7	開キ丸遺跡	27	船戸遺跡	47	初瀬影野地遺跡
8	飼古屋岩陰遺跡	28	三里遺跡	48	楠山遺跡
9	庭ヶ渕遺跡	29	松ノ木遺跡	49	田村遺跡群
10	坂本大平岩陰遺跡	30	姫野々上町遺跡	50	板部遺跡
11	片粕遺跡	31	十川駄場崎遺跡	51	福井遺跡
12	長徳寺跡	32	大宮・宮崎遺跡	52	梅ノ木谷遺跡
13	城ノ台洞穴遺跡	33	栄エ田遺跡	53	八田神母谷遺跡
14	柳田遺跡	34	北高田遺跡	54	只同中山遺跡群１
15	木屋ヶ内遺跡	35	居徳遺跡群	55	入田遺跡
16	初平ヶ岩屋洞穴遺跡	36	仁井田遺跡		
17	林田シタノヂ遺跡	37	広瀬遺跡		
18	不動ガ岩屋洞窟	38	唐人駄場遺跡		
19	祈年遺跡	39	川口ホリキ遺跡		
20	美良布遺跡	40	川口新階遺跡		



第　図　高知県内の主たる縄文時代遺跡分布図(縮尺は任意)

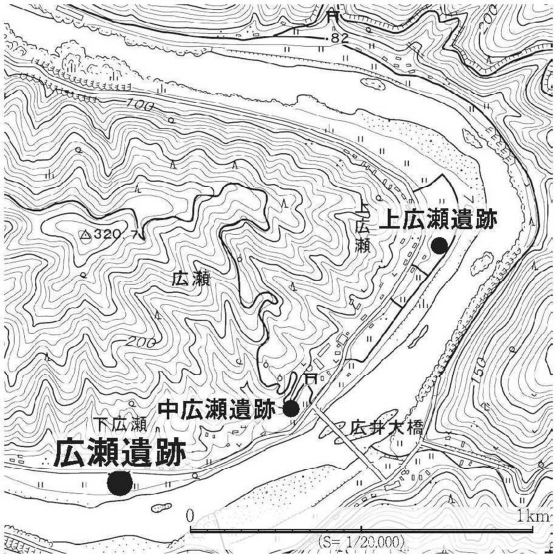
37. 広瀬（ひろせ）遺跡（高岡郡四万十町広瀬）

1．遺跡の概要

広瀬遺跡は、高岡郡四万十町広瀬に所在する（第１図）。

縄文時代の漁労や狩猟などの営みを示す遺跡であって、高岡郡津野町の不入山（標高1,336m）に源を発する四万十川の中流域右岸、川が山陵を避けて蛇行を繰り返す地域の河岸段丘の上に形成されている。

また、この遺跡の近くには、縄文時代の土器や石器が確認された、中広瀬遺跡と上広瀬遺跡が所在している。



第１図　広瀬遺跡位置図（※国土地理院地図を加工）

2．調査研究の成果

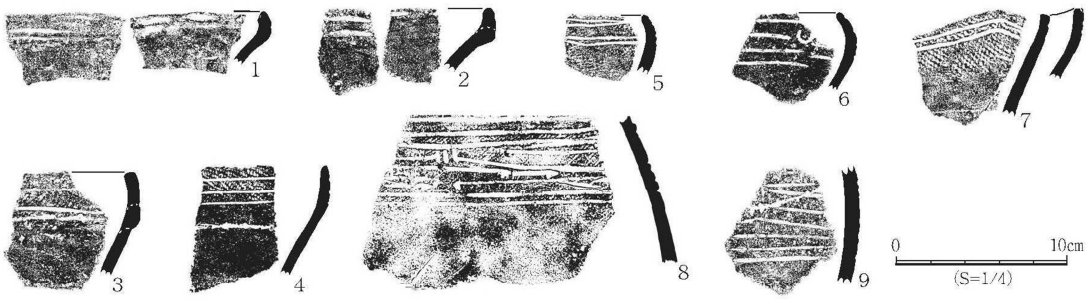
遺跡発見の契機は個人の農地開発であって、それに伴う発掘調査以降、５回の調査が行われてきた（十和村教委2004）。

昭和38（1963）年の調査では、自然石を並べたものが三つ確認され、発見された地表面からの深さがそれぞれ異なっていたことから、複数の時期に形成された住居に伴うものである可能性が指摘された（高知県1963）。

複数の時期の存在については、遺物を含む土壌の上位から出土した土器と下位から出土した土器が異なることからもうかがえるとし、上位から出土したものを広瀬上層式として型式設定すると共に、九州の西平式に相当する特徴を有しているとして縄文時代後期に位置付けられた（高知県1968）。

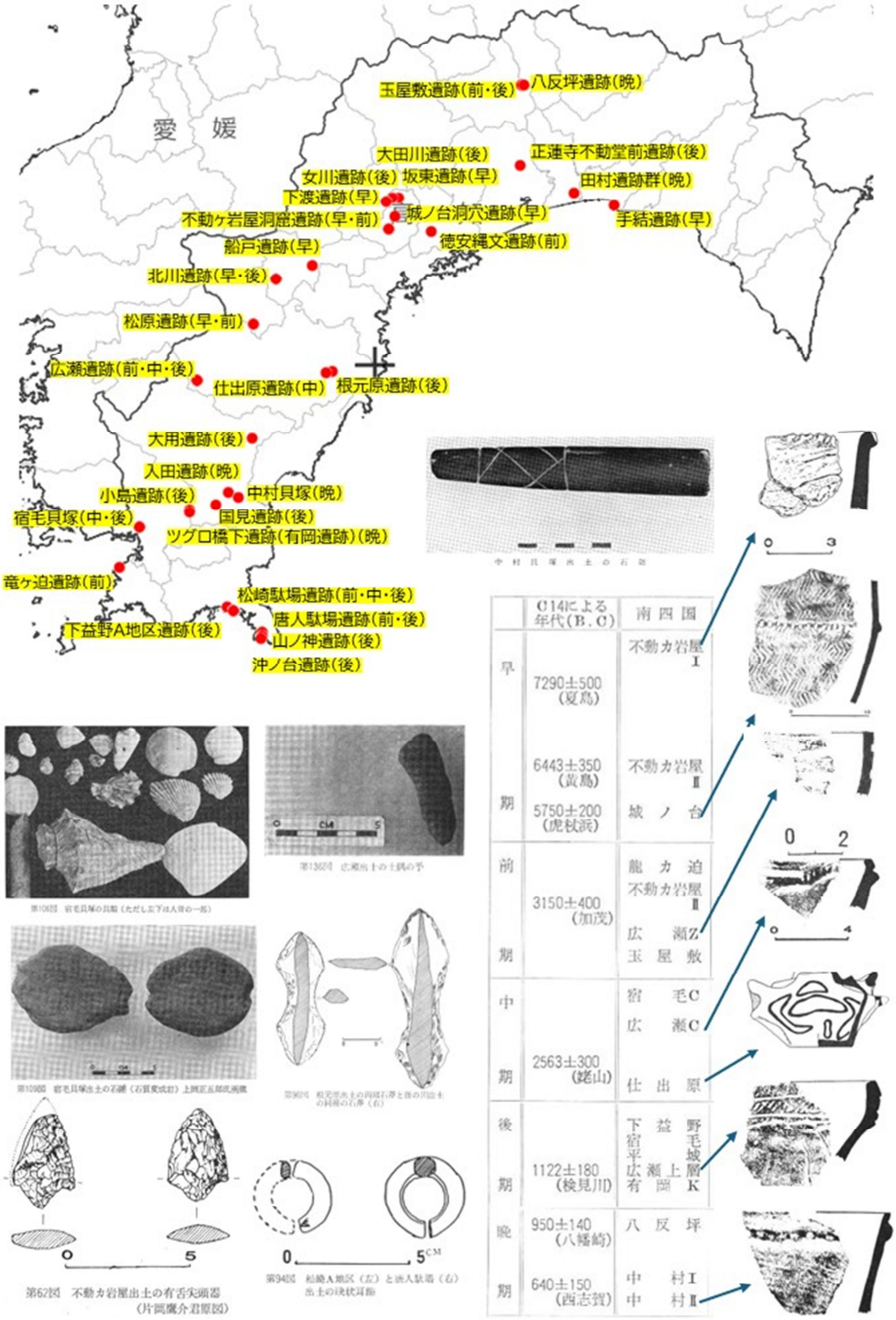
尚、昭和46（1971）年の調査において広瀬上層式は広瀬式とされ、それが出土したところよりも下層から縄文時代前期と中期の土器が出土したことが報告されている（十和村教委1973）。

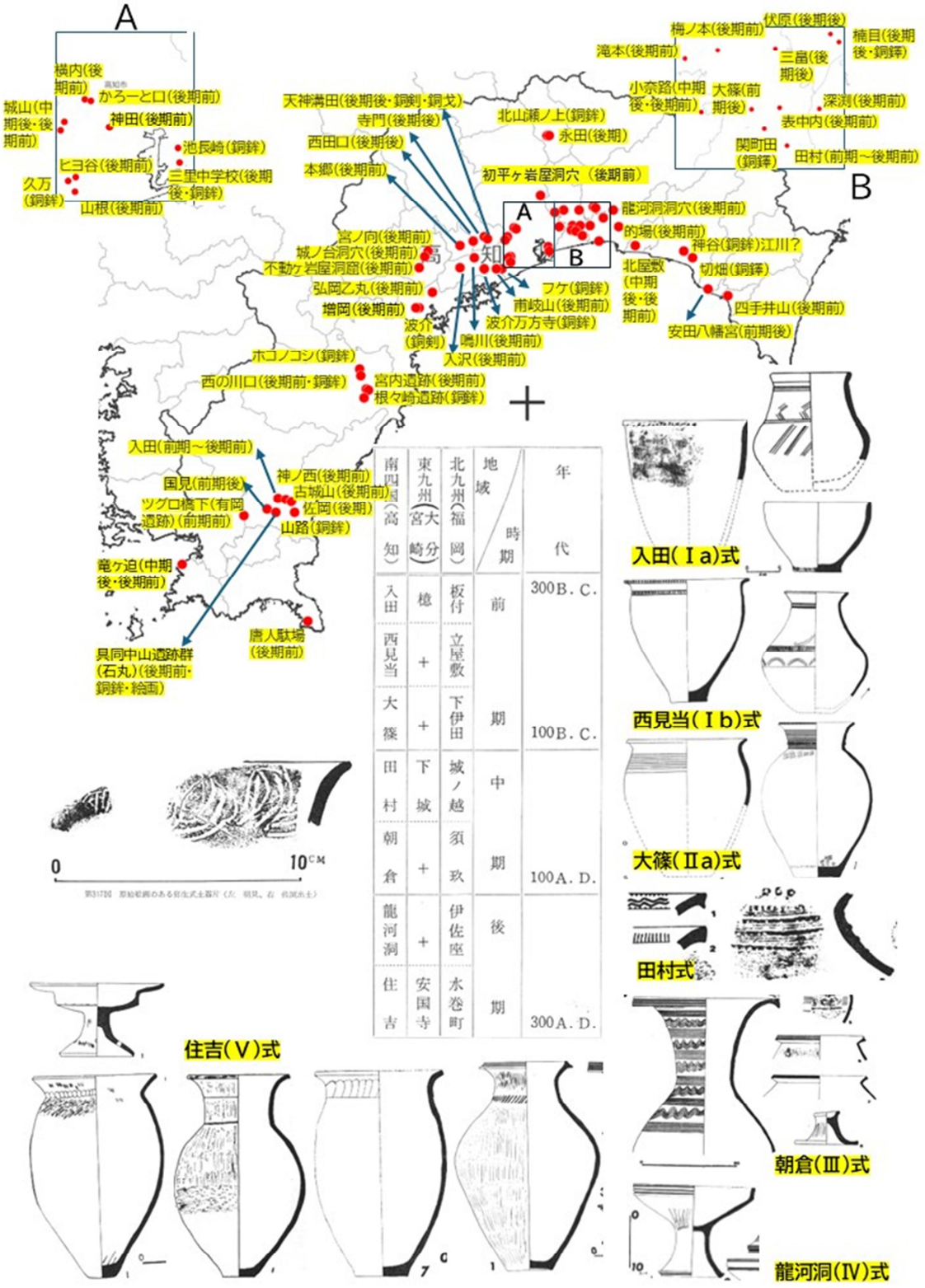
広瀬上層式とされてきたものを第２図に図示した。この土器には、深鉢と浅鉢の二つの器形があるとされ、深鉢の文様は１から４に見られるように口縁部外面に口縁と並行する沈線文を施し、中には１と２に見られるように内側に船底様の刺突文を施すものが認められる。また胴部の上半には、８と９に見られるように、端部に刺突を持つ斜行する沈線の上下を並行する沈線で挟んだ文様を有する。基本的に縄文を施してから沈線で文様を描くものが中心で、磨消縄文は稀とされる（木村1983）。

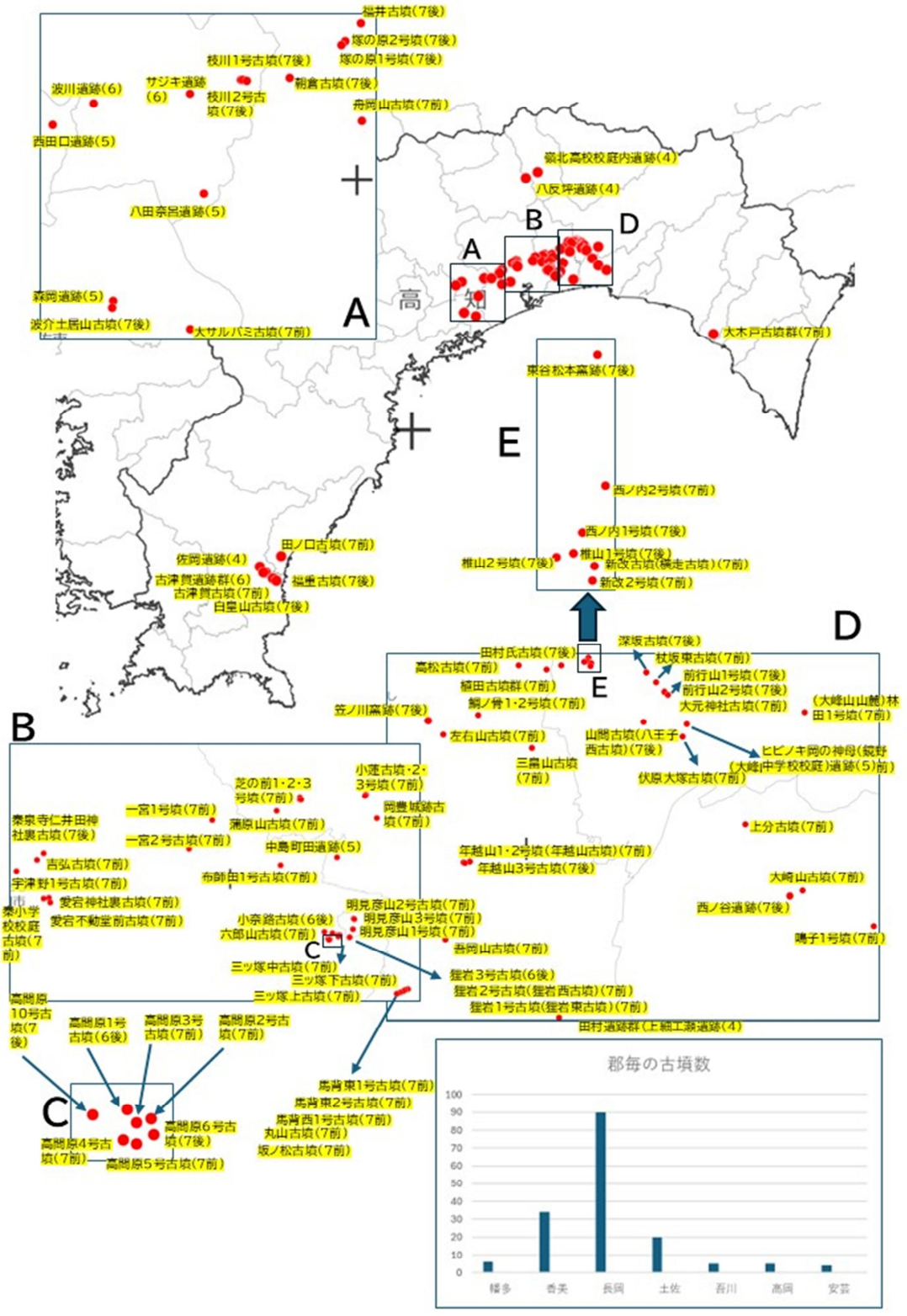


第２図　広瀬上層式土器
（高知県教委1963と木村1983で報告されたものを事務局で図化。但し、８は高知県教委1963より転載）

（２）概説たたき台案の作成（1968 年の『高知県史』の縄文・弥生・古墳時代）




A
B
横内(後期前)
かろーと口(後期前)
神田(後期前)
城山(中期後・後期前)
池長崎(銅鉾)
ヒヨ谷(後期前)
三里中学校(後期後・銅鉾)
久万(銅鉾)
山根(後期前)
天神溝田(後期後・銅剣・銅戈)
寺門(後期後)
北山瀬ノ上(銅鉾)
永田(後期)
西田口(後期後)
本郷(後期前)
初平ヶ岩屋洞穴(後期前)
龍河洞洞穴(後期前)
的場(後期前)
神谷(銅鉾)江川?
切畑(銅鉾)
北屋敷(中期後・後期前)
四手井山(後期前)
安田八幡宮(前期後)
宮ノ向(後期前)
城ノ台洞穴(後期前)
不動ヶ岩屋洞窟(後期前)
弘岡乙丸(後期前)
増岡(後期前)
フケ(銅鉾)
甫峡山(後期前)
波介万方寺(銅鉾)
波介(銅剣)
鳴川(後期前)
入沢(後期前)
ホコノコシ(銅鉾)
西の川口(後期前・銅鉾)
宮内遺跡(後期前)
根々崎遺跡(銅鉾)
入田(前期～後期前)
国見(前期後)
ツグロ橋下(有岡遺跡)(前期前)
神ノ西(後期前)
古城山(後期前)
佐岡(後期)
山路(銅鉾)
竜ヶ迫(中期後・後期前)
唐人駄場(後期前)
貝同中山遺跡群(石丸)(後期前・銅鉾・絵画)
梅ノ本(後期前)
伏原(後期後)
滝本(後期前)
三晶(後期後)
橋目(後期後・銅鉾)
小奈路(中期後・後期前)
大篠(前期後)
深渕(後期前)
表中内(後期前)
関町田(銅鉾)
田村(前期～後期前)
南四国(高知)
東九州(宮崎・大分)
北九州(福岡)
地域
時期
年代
板付
立屋敷
下伊田
城ノ越
須玖
伊佐座
安国寺
水巻町
前期
中期
後期
300B.C.
100B.C.
100A.D.
300A.D.
入田
西見当
大篠
田村
朝倉
龍河洞
住吉
0
10cm
入田(Ⅰa)式
西見当(Ⅰb)式
大篠(Ⅱa)式
田村式
朝倉(Ⅲ)式
龍河洞(Ⅳ)式
住吉(Ⅴ)式


福井古墳(7後)
塚の原2号墳(7後)
塚の原1号墳(7後)
枝川1号古墳(7後)
朝倉古墳(7後)
波川遺跡(6)
サジキ遺跡(6)
枝川2号古墳(7後)
舟岡山古墳(7前)
西田口遺跡(5)
嶺北高校校庭内遺跡(4)
八反坪遺跡(4)
八田奈呂遺跡(5)
A
B
D
森岡遺跡(5)
波介土居山古墳(7後)
大サルバミ古墳(7前)
大木戸古墳群(7前)
東谷松本窯跡(7後)
E
西ノ内2号墳(7前)
西ノ内1号墳(7後)
田ノ口古墳(7前)
佐岡遺跡(4)
古津賀遺跡群(6)
古津賀古墳(7前)
福重古墳(7後)
白皇山古墳(7後)
椎山2号墳(7後)
椎山1号墳(7後)
新改古墳(横走古墳)(7前)
新改2号墳(7前)
深坂古墳(7後)
田村氏古墳(7後)
杖坂東古墳(7前)
高松古墳(7前)
前行山1号墳(7後)
前行山2号墳(7後)
植田古墳群(7前)
鯛ノ骨1・2号墳(7前)
大元神社古墳(7前)
(大峰山山麓)林田1号墳(7前)
笠ノ川窯跡(7後)
左右山古墳(7前)
山間古墳(八王子西古墳)(7後)
ヒビノキ岡の神母(鏡野(大峰中学校校庭)遺跡(5)前)
三扇山古墳(7前)
伏原大塚古墳(7前)
B
芝の前1・2・3号墳(7前)
小連古墳・2・3号墳(7前)
一宮1号墳(7前)
岡豊城跡古墳(7前)
秦泉寺仁井田神社裏古墳(7後)
蒲原山古墳(7前)
上分古墳(7前)
一宮2号古墳(7前)
中島町田遺跡(5)
年越山1・2号墳(年越山古墳)(7前)
吉弘古墳(7前)
年越山3号古墳(7後)
布師田1号古墳(7前)
大崎山古墳(7前)
宇津野1号古墳(7前)
愛宕神社裏古墳(7前)
西ノ谷遺跡(7後)
秦小学校校庭古墳(7前)
愛宕不動堂前古墳(7前)
明見彦山2号古墳(7前)
小奈路古墳(6後)
明見彦山3号墳(7前)
鳴子1号墳(7前)
六郎山古墳(7前)
明見彦山1号墳(7前)
C
吾岡山古墳(7前)
三ツ塚中古墳(7前)
猿岩3号古墳(6後)
三ツ塚下古墳(7前)
猿岩2号古墳(猿岩西古墳)(7前)
三ツ塚上古墳(7前)
猿岩1号古墳(猿岩東古墳)(7前)
高間原10号古墳(7後)
高間原1号古墳(6後)
高間原3号古墳(7前)
高間原2号古墳(7前)
田村遺跡群(上組工業遺跡(4)
馬背東1号古墳(7前)
馬背東2号古墳(7前)
馬背西1号古墳(7前)
丸山古墳(7前)
坂ノ松古墳(7前)
高間原6号古墳(7後)
高間原4号古墳(7前)
高間原5号古墳(7前)
郡毎の古墳数
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
幡多
香美
長岡
土佐
吾川
高岡
安芸

（３）進捗状況

①旧石器時代→45 箇所（地区）の遺跡記述は年内、４頁の時代総括とコラムは２月に完了

②縄文時代→全 55 の遺跡記述を編集中

③弥生時代→全 85 の遺跡記述を編集中

④古墳時代→全 75 の遺跡記述を編集中。今年度中に 30 遺跡の執筆を目指す。

４、部会を越えた情報共有

（１）石造物基盤情報整備

本基盤情報の整備は、考古部会古代担当、中世担当、近世担当の各委員および、古代中世部会、近世部会、近代部会、現代部会、文化財部会、民俗部会が、それぞれの県史執筆にとって参考となる情報を共有し、その利活用をはかるために、これまで公開されてきた諸資料からデータを整理し、高知県にとっての当該分野の基本情報を担うことを目的とする。

整備期間は約２年間を予定。

（２）古代中世・文化財・考古部会関係資料の情報共有と調査分担

資料の素材を紙と非紙に分け、紙素材資料は古代中世部会長、非紙素材資料は考古部会長がカテゴリー整理案を作成し、３部会の調査分担の検討をおこなう。また文化財部会長は資料の所在確認等をおこなう。

資料３－５

第 16 回編さん編集委員会資料

民俗部会　活動報告

令和８年 10 月 30 日

１．前回編集委員会(R8.6.4)以降の民俗部会の主な活動

○『資料編 民俗１』民話の部 執筆者協議（６月 10 日）

・構成、執筆内容の検討（総説、伝承地、引用・参考文献）などを協議

○『資料編 民俗１』民謡の部 構成協議（７月 16 日）

・民謡分類及び収載箇所などを協議

○第 17 回民俗部会（７月 27 日）

・『資料編 民俗１ 民話・民謡・地名』の編集状況

・人権的な配慮を要する事項及び個人情報等の取扱いに関する方針

・『本編 民俗１』の調査・編集

・令和９年度予算要望、「ときのあかし」Vol.3 の執筆について　ほか

○第 18 回民俗部会（10 月３日）

・『資料編 民俗１ 民話・民謡・地名』の編集状況

・『本編 民俗１』の調査・編集

・令和８年度合同調査（物部川流域）について

・編集方針「新たな高知県史【民俗編】の編集」の改訂に向けて　ほか

○民俗地図アンケート調査（令和８年６月～）

・県内 169 地点で同じ項目（昔の農業、海・川・山の利用、季節や天気の言い伝えやことわざ）で聞き書きによるアンケート調査を実施（R8~9 年度）

・市町村で実施していただく 40 地点を除いた 129 地点のうち、30 地点で完了（R8.10.14 現在）

※調査の様子は、高知県文化広報紙「とさぶし」56 号 22 ページを参照

○『資料編 民俗１』関連調査

・民話の部 現地調査及び掲載用写真撮影（６月 26 日）

高知市：「孕のジャン」（東孕、西孕）、「宇賀の長者」宇賀神社、糠塚

南国市：「皿屋敷悲話」春喜さま祠

・地名の部 関係調査及び掲載用写真撮影

高岡郡津野町・檮原町・須崎市（８月 16～17 日）、南国市・安芸市（９月 16～17 日）

○『本編 民俗１』関連調査

・海村（漁業）関係調査

すくも湾漁協（６月５日）、久礼漁協・県漁協清水支所（７月 28・29 日、10 月４・５日）

・町（市場）関係調査

津野町（笹岡家）・宿毛市（濵田家）（７月 28・29 日）、

土佐市高岡町日曜市・高知市清岡サンゴ店・地域文化計画（10 月４・５日）

2.『資料編　民俗１　民話・民謡・地名』（令和９年度刊行）の調査・編集状況

〔民話の部〕

常光徹部会長、中脇初枝氏（作家・調査協力員）

・「民間神話」、「伝説」、「昔話」、「世間話」、「人物譚」の５章で構成

・令和８年 10 月までに 200 ページ、令和９年１月までに 100 ページを執筆(300 ページ)

・10 月までに執筆した 200 ページについて、11 月に執筆者会議を行い、調整する

〔民謡の部〕

岩井正浩氏（神戸大学名誉教授・調査協力員）

・「労作歌」、「祭り歌・祝歌」、「踊り歌」、「座興歌」、「語り物・祝福芸の歌」、「子守歌」、「わらべうた」の七分類で構成

・七分類の民謡及び解説の執筆はほぼ完了（300 ページ）

・掲載楽譜と写真の配置等を検討し、10 月末には事務局へ提出（⇒事務局校正を開始）

〔地名の部〕

楠瀬慶太氏（高知工業高等専門学校准教授・調査協力員）を中心とした地名班

・「総論」６節、「自然と地名」３節（地形、風水害、生物)、「人と地名」５節（歴史、集落、交易・紀行、生業、信仰）の３章で構成　特徴的な地名はコラムとして掲載

・令和８年９月までに 300 ページを執筆完了予定であったが、計画を修正

⇒令和８年 12 月までに 180 ページとコラム 15/20 本、令和９年２月までに全体の執筆を完了

○資料編１執筆者会議を定期的に実施し、３つの部の全体調整を行う

3.『本編　民俗１』（令和 13 年度刊行）の構成について

高知県の地域性から民俗の特徴を記述する

・「序章」（高知県の民俗、民俗地図)、「平地・農村」、「山村」、「海村」、「町と都市」の５部構成

⇒第 17 回部会で構成に関してそれぞれのつながりを意識する必要性が出され、「流域」や「道」をキーワードに章立てを考えることとし、第 18 回部会において担当委員に各部の構成案及び取り上げる地域（市町村）を提出してもらい、検討を行った

ex. 海の部

第一章　潮の道（寄りもの、エビス、シオバカリ、津波伝承、水死者と供養など）

第二章　船と漁の道（カツオ漁、シイラ漁、サンゴ漁、定置網、糸満漁民の寄留など）

第三章　川から海への道（汽水域の漁業、磯漁、シラス漁、さまざまな網漁など）

第四章　海から町への道（魚の流通、セリと入札、浦と郷、漁村の年中行事など）

＝＝

『資料編 民俗１』民話の部の基礎資料となる
「市原麟一郎氏民話聞き書きテープ」の抽出作業の様子





資料３－６

令和８年 10 月 30 日

第 16 回高知県史編さん編集委員会

令和８年度文化財部会活動報告（令和８年５月 16 日～令和８年 10 月 13 日）

1. 文化財部会の開催について

第５回文化財部会：令和８年８月６日（木）13：30～16：30　於：高知県自治会館

協議事項・・・・・（１）歴史文化財課に共有を依頼する資料について

（２）調査・執筆の進捗と課題について

（３）資料編３の構成について

（４）「ときのあかし vol.３」執筆担当者について

事務局業務報告

2. 委員・調査協力員による調査等

○天然記念物　地質鉱物

10 月１日（木）　委員、調査協力員による国天記 五色ノ浜の横浪メランジュの調査（土佐市）

○天然記念物　植物

６月　県天記 仏性寺の大椎の撮影・計測・聞き取り（6/15 高知市）、他２件

７月　県天記 畑山のムカデラン自生地の撮影・計測・聞き取り（7/10 安芸市）

８月　国天記 大谷のクスの撮影・計測・聞き取り（8/12 須崎市）、他３件

９月　県天記 サカワヤスデゴケの撮影・採取（9/1 佐川町）、他６件

10 月　国天記 三嶺・天狗塚のミヤマクマザサ及びコメツツジ群落（10/6 香美市）

○天然記念物　動物

６月　国天記 蓑曳矮鶏の撮影（6/22 日高村）、他１件

７月　国特天記 高知市のミカドアゲハ及びその生息地の調査（7/9 高知市）、他１件

○民俗文化財

６月　県有民 津野山舞台について、歴史文化財課に同行し聞き取り（6/13 梼原町）

７月　重無民 幡多神楽の撮影・聞き取り（7/5 四万十町）、他２件

８月　県無民 地吉の大念仏の調査（8/4-5 四万十町）、他 12 件

９月　県無民 岩井口・塚谷の不動明王四遍念仏の調査（9/5-6 佐川町）

10 月　国選択無形 吉良川御田八幡宮神祭のお舟・花台行事の撮影（10/10-11 室戸市）、他２件

○史跡等

５月　県史跡 五台山「貞享元年（1684）銘法華経塔（五台山の経）の現地調査（5/29 高知市）

６月　旧石器時代について、考古部会と聞き知り調査（6/17 高知市）

７月　昭和20年後半から昭和30年代の高知県指定文化財関係文書調査とデータ化（7/15）

８月　法喜院にて仏像の部材虫害調査（8/17 東洋町）
五台山竹林寺の国重要文化財彫刻の燻蒸と移動立会い調査（8/19 高知市）
国史跡 土佐遍路道金剛福寺道「眞念庵周辺道」関連資料まとめ
昭和３～５年史蹟・名勝天然記念物「縣名入標識建設箇所」の文書活字化


高知市五台山法華経塔

９月　五台山竹林寺の国重要文化財彫刻の移動と修理箇所確認調査（9/12 高知市）

3. 広報啓発

○香美市文化財保存活用地域計画 文化財ワークショップにおける講師

８月１日　（土）　香美市保健福祉センター香北
高知県民の宝・大川上美良布神社社殿　三浦要一
22 日（土）　香美市立中央公民館
お墓も文化財－墓じまいを考える－　岡本桂典

○高知市中央公民館事業 高知市民の大学における講師

高知市文化かるぽーと
「高知の宝（文化財と自然）：新しい県史編さん現場からの学術的報告１」
10 月６日（火）　新しい『高知県史』の編さんと高知の文化財
～あなたの家に眠るお宝も文化財？～　岡本桂典
13 日（火）　高知県の民俗文化財 ～祭りと芸能の継承～　大本敬久

4. 事務局作業

文化財の指定経緯や調査報告、災害による被害等を記録した資料等をスキャンし、PDF化を進めている。

６月　『埋文こうち』第１号～第27号 継続中
８月　高知県文化財保護審議会資料（S24～S44）　継続中
９月　『高知県文化財調査報告書』第１集～第27集　24/26冊完了
『土佐史談』第４号～第81号　文化財指定等に関連する部分をスキャン 継続中

資料３－７
令和８年 10 月 30 日
第 16 回高知県史編さん編集委員会

高知県史編さん自然部会の活動状況について

令和８年 10 月 30 日
高知県史編さん自然部会
正副部会長

１　自然部会の発足について

（１）委員構成

①正副部会長　部会長 原忠、副部会長　邑田仁

②調査協力員　第１編　動物（両生類・爬虫類・哺乳類・昆虫）・植物・地質
第２編　自然災害（元県土木部職員等）

（２）自然編（本編）のコンセプト

①高知の自然環境と多様な生物の特徴と特質について、これまでの自然史科学の成果をふまえて叙述する。

②高知の自然災害について、通史的に叙述するとともに、自然災害と関連する都市計画や開発、災害復旧・復興の歴史を取り上げる。

③高知の自然について県民の理解と愛着を深めるため、写真や図表を多く盛り込み、ビジュアルを重視した紙面構成とする。記述に関連したトピックをコラム記事で取り上げる。

（３）刊行スケジュール（予定）

Ｒ８～13 年（６年）　各論の調査・執筆

Ｒ14～15 年（２年）　総論の執筆、全体調整、編集(校正)、刊行

２　協議の状況（時系列順：11 月以降は日程及び予定）

（１）第１編の生物チーム員(調査協力員)による打ち合わせ（９月 18 日実施）

①出席：前田調査協力員・谷地森調査協力員・県史編さん活用課

②内容

○スケジュール及び調査体制等の確認

・令和 17 年度発刊までのスケジュール

・調査協力員候補者の選定（チーム員以外の調査協力員をする必要があり、11～12 月に掲載分野と候補者をリスト化する）

・レッドデータリスト改訂作業との連携（自然共生課へ確認する）

（２）第２編の自然災害編の調査協力員候補者の選定（９月 25 日実施）

①出席：原部会長・県史編さん活用課で協議(メール協議)

②内容

○調査協力員候補者(第２編チーム員)の選定

・令和２から６年度における県土木部退職者から危機管理や河川行政等の経験者５名をリスト化

○今後の進め方等

・県史編さん活用課にて土木部との協議を実施し、候補者へアポ取りをする

（３）第２編の自然災害編の執筆候補者との打ち合わせ（11 月 12 日）
①出席(予定)：原部会長・県土木部・県建設技術公社・県史編さん活用課
②内容(予定)
○候補者リストに関する意見交換
○掲載候補の災害のリスト化（下記候補も含め検討）
・チリ地震津波(S35.5.23)
・台風災害(S38 年台風９号による豪雨災害、S45 年台風による高潮災害、S50 年台風・S51 年台風等)
・繁藤災害(S45 年集中豪雨による山腹崩壊：土砂災害)
・98 高知豪雨(H10 年高知市を中心とした県中部における豪雨災害)
・01 西南豪雨(H13 年県西南部における豪雨災害)
○候補者リストを基にした連絡方法や提案方法の確認
（11 月 12 日の協議後に連絡を進める予定）

（４）第２回 生物チーム会の実施（11 月 30 日）
①出席
○邑田副部会長
○生物チーム員（斉藤・前田・谷地森・山田・坂本調査協力員）
②内容
○調査体制及び掲載項目等の協議
・項目掲載数の検討：調査や執筆可能な人材のリスト化
・今後の進め方：リストを基にした連絡方法や提案方法の確認及び令和８年度第４四半期以降(次年度を含め)の動き方の確認

（５）第２回 自然部会の開催（Ｒ９年１～２月予定）
①出席：正副部会長・第１編及び第２編の関係者
②内容
○第１回部会以降の状況共有
○Ｒ９年度の調査開始等に向けた協議
・具体的な掲載項目の検討(現時点における仮案も含む)
・ページ体裁や記載項目の整理
○第１期及び２期計画の策定

資料３－８
令和８年 10 月 30 日
第 16 回高知県史編さん編集委員会

近世部会 活動報告

（１）第 11 回近世部会調査（令和８年９月 14 日～17 日）

１　史料群名　北川家文書（個人蔵）

２　史料群の概要
・安芸郡野根郷野根村（現：高知県東洋町）の惣老を勤めた北川家に伝わる古文書
・北川家の年譜をはじめ、藩主巡覧、財政関係、阿波との国境関係史料、土地開発、宗教関係など内容は多岐にわたる（一部は旧『高知県史 近世史料編』に掲載）

３　調査の日時、場所及び人員
日　　時：令和８年９月 14 日（月）～９月 17 日（木）
場　　所：こうち勤労センター７階　会議室
調査人数：総勢 30 名
（委員７名・県内学芸員４名・県外院生等 13 名・県内学生６名）

４　調査の方法
史料１点ごとに調査カードを作成

５　調査史料点数
箱５（前回の続き）近世文書調査終了 … 328 点
箱 11（新規着手）近世文書調査終了、近代文書調査途中 … 206 点
箱 29（新規着手）近世文書調査終了、近代文書調査途中 … 151 点
合計　685 点

６　調査成果
・箱５の調査カード作成は終了
・箱 11、箱 29 は近世文書を優先して調査し、終了
→北川家文書の近世文書は調査完了（残りは近代文書）

７　今後の調査の方向性
・調査が完了した「北川家文書」近世文書について、資料編２以降の掲載にむけた選定及び翻刻の実施
・来年３月以降の史料調査の対象となる史料群の選定
※今後の刊行巻のテーマに沿った地方文書、宗教関係文書等の調査

（２）『資料編　近世１』編集作業

１ 令和８年度初稿確認会（８月３日～５日）

・編集状況の共有と検討

目次、凡例の内容検討

史料表題の付け方、文字配列、文字ポイントなどの検討

口絵の候補選定

・今年度のスケジュール確認

２　令和８年度第２回近世部会（９月 14 日～17 日）

・２稿校正作業に向けて

校正原則の確認

目次、解説及び史料群解題の内容と文言の検討

・今年度下半期のスケジュール確認（別紙スケジュール参照）

・『資料編 近世２』および『資料編 近世３』について

巻別の掲載史料のテーマのすみ分け検討

『資料編３』（宗教・思想・文化等）選定候補史料の検討

（３）今後の日程

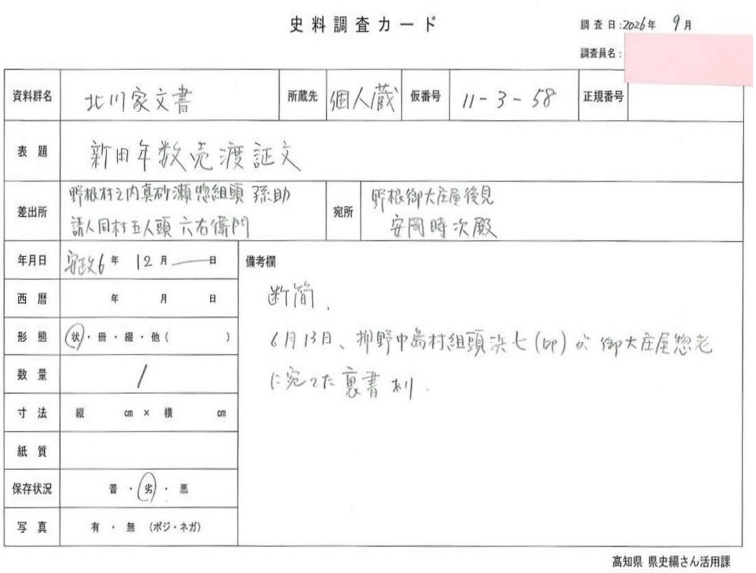
・12 月３日、４日　　２稿確認会

・3 月 15 日～18 日　　第 12 回近世部会・部会調査

写真１　調査風景画像(9 月 15 日)



写真２　史料調査カード



史料調査カード

調査日：2026年 9月

調査員名：

資料群名	北川家文書	所蔵先	個人蔵	仮番号	11-3-58	正規番号	
表題	新田年数売渡証文						
差出所	野根村之内真砂瀬惣組頭 孫助 請人同村五人頭 六右衛門	宛所	野根御大庄屋役見 安岡時次殿				
年月日	寛政6年 12月 日	備考欄					
西暦	年 月 日	断簡。					
形態	(史)・冊・綴・他( )	6月13日、抑野中高村組頭浜七(印)が御大庄屋惣左					
数量	1	に宛った裏書刈。					
寸法	縦 cm × 横 cm						
紙質							
保存状況	普・(良)・悪						
写真	有・無 (ポジ・ネガ)						

高知県 県史編さん活用課

資料４

第５回高知県史編さん委員会　質疑応答要旨

■並村委員

・高校生の見学会に参加した生徒の中には、元々歴史などが好きで参加したこともあるが、この見学会に参加し、更に興味を深めて、大学でそうした進路に進学した事例もある。人材育成という面では意義あることではないかと思う。

・高校生に周知するだけでは、参加が難しい。教員が、生徒たちを引っ張っていける立場にあれば、裾野が広がるのではないか。昨年も同じような要望があっているが、高校生の裾野を広げる以前に、高校教員が興味、関心を持てるような取り組みを進めていただきたい。

→（事務局）

・高校生が見学に来ていただけることは大変ありがたい。その前に、教員に興味関心を持っていただけるように、事務局でも検討したい。

■北代委員

・宿毛市では、宿毛の 27 人の偉人ということで、小中学生が偉人について調べ学習をしていこうとなっている。今までも、小野梓をピックアップして、絵画コンクールや作品コンクールを実施している。地元の偉人について宿毛市の皆さんに知っていただける、キャリア教育に繋がる方向性を出す取り組みをしている。

■今城委員

・昨年度から教育委員会で力を入れているのは、キャリア教育。本県が特に大事にしているのが、「郷土への理解と愛着を育む」こと。子どもたちが、歴史を含め郷土の文化や産業の理解を深め、一度高知を出てしまっても、高知を思い出して、いずれ帰ってきてくれたらということを踏まえて力を入れている。キャリア教育との関連でコラボもできればと考えているため、担当部局とも連携していきたい。

■古谷委員

・子どもたちが高知県の歴史に触れ、偉人の輩出や出来事を理解すると郷土愛が深まると同時に、進学等で県外へ出ても、高知県へ帰ってきて、郷土の為に何かをしたいという気持ちが湧いてくると思う。

・県史を早い段階から、子どもたちの目に触れさせて、目に触れさせることが難しければ、耳から入るように。今の子どもたちは、中々文字を読まないが、スマホはよく見る。SNS など、今の需要のものを使って、子どもたちにいかに高知県史をわかってもらうかということ。一般の人が目に触れることは少ないと思う。段階的に、出来上がったものを、わかりやすく、誰もが目に触れることができるようにしていけば、高知県史への愛着や理解に繋がると思う。

・高知県は素晴らしい人材を輩出しており、それを契機に高知へ訪れる観光客がたくさんいる。そうした方々が触れる機会が多く出してもらえたらよいのではないか。

→（事務局）

・教育分野との連携や活用についても、更に力を入れて進めていきたい。

資料５

広報啓発・人材育成の実施状況について

１．広報啓発

（１）文化広報誌「とさぶし」の刊行

・文化広報誌「とさぶし」を活用した広報の展開（「つないでつむいで　県史編さん」）。
・令和８年度も６月、９月、12 月、３月の計４巻発刊予定。
　６月…高知ならやっぱり！軽トラやないと！（自然部会の設置について）
　９月…祭りのかたち～土佐祭り人の表現～（民俗部会聞き取り調査の様子）

（２）事業報告書「ときのあかし」

・仕様
　規格：A4・20 ページ（８部会×２P＋事務局ページ）・フルカラー
　部数：3,000 部
　発行時期：令和８年２月 26 日（金）（予定）
・現在の執行状況と今後の予定
　入札が完了し、業者も決定の上、契約。各専門部会へ原稿の作成等を依頼済み。
→今後、入校した原稿の校正作業
・主な掲載内容
　①成果報告（写真等画像データ及び本文 800 文字）
　　県史の調査活動で取り扱った史料（資料）の紹介
　②部会調査の様子の紹介（240 字程度）
　　・自然部会は今年度立ち上げのため、「県史への思い」を掲載
　③トピックス（選択制）
　　成果報告に関連して、特筆すべき点や調査の裏話などトピック的なものを紹介

（３）講演会の開催

・考古部会が２月頃に四万十市にて報告会を実施予定。

（４）ＳＮＳの運営

・令和７年度より Instagram を開設し、Facebook と連携する形で投稿を開始。
・各専門部会の日々の調査の様子や行事のお知らせなどを投稿。

（５）高知市民の大学第 100 期の開講

・10 月６日から１月 26 日にかけて、火曜日コースに開講。
・「高知の宝（文化財と自然）：新しい県史編さん現場からの学術的報告１」をメインテーマとし、文化財部会を中心に、計 15 回の講義を実施。

２．人材育成

（１）「歴史資料調査隊」養成講座の開催（予定）

・下記のとおり令和８年度養成講座「資料撮影編」を実施予定。

実 施 日：令和８年１月 16 日（土）・17 日（日）

講　　師：高知県立高知城歴史博物館　総務企画課地域企画室

内　　容：歴史資料の取扱い方、写真撮影方法

受講者数：12 名（予定）

・修了生を会計年度任用職員（日々雇用）として採用予定。県史編さん活用課での資料撮影、データ整理業務等に携わっていただく。

・修了生に対し継続的に歴史資料調査に携わる機会を提供していく。

（２）地元高校生による資料調査見学の開催

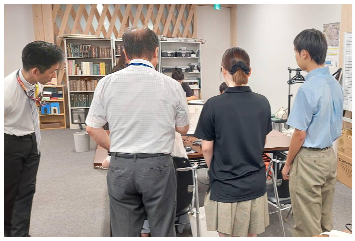
・令和８年度は下記のとおり実施。

①高知学芸高等学校

実 施 日：令和８年５月 25 日

内　　容：古文書の取扱い、資料撮影、翻刻の体験

参加者数：４人



②高知東高等学校

実 施 日：令和８年７月 30 日

内　　容：古文書の取扱い、翻刻の体験など

参加者数：２人

・参加した学生からの評価はとても好評であり、興味を持っていただくよい機会となった。今後も、随時見学の受け入れを行う。

資料６

令和９年度予算要求の概要について

１ 編さん体制の構築

・編さん委員会を１回、編集委員会を３回開催

２ 令和９年度高知県史編さん事業の全体予算（案）

・１５３,２７３千円　　（令和８年度：140,191 千円）

内訳（１）編さん体制の構築・運営　42,308 千円（令和８年度：41,049 千円）
（編さん委員会・編集委員会委員謝金・旅費、事務局運営費）

（２）調査・編集活動経費　107,778 千円（令和８年度：96,262 千円）
（委員月額謝金、各専門部会活動費、事務局活動費、クラウドサービス維持費）

（３）広報啓発・人材育成　3,187 千円（令和８年度：2,880 千円）
（広報誌作成等広報活動、養成講座・講演会等開催経費）

３ 専門部会における予算要望

【 古代・中世部会 】

○ 資料調査(旅費)
県内における集合調査、個別調査、県外における資料調査など

○ 資料調査（人件費）
日々雇用職員による長宗我部史料抽出作業(約 560 時間)
史料テキストの校正作業や調査協力員による調査補助

○ 執筆作業
Ｒ10 刊行予定の資料編に向けた執筆作業（原稿用紙 2,375 枚分）

○ 調査委託料（東京大学史料編纂所）
史料編纂所に所蔵されている高知県関連の古代・中世複製史料の収集・整理

【 近世部会 】

○ 資料調査(旅費)
県内における集合調査、個別調査、県外における資料調査など

○ 資料調査（人件費）
県内大学生による資料撮影及び翻刻、データ入力・整理作業(約 2,100 時間)
集合調査時における県内大学生・県外大学院生による調査補助(約 966 時間)
調査協力員等による部会への出席及び調査補助

○ 翻刻作業
２刊目以降の資料編に向けた翻刻作業（原稿用紙 2,000 枚分）

【 近代部会 】
○ 資料調査(旅費)
県内における集合調査、個別調査、県外における資料調査など
○ 資料調査（人件費）
県内大学生による資料撮影及び翻刻、データ入力・整理作業(約 2,660 時間)
集合調査時における県外大学院生による調査補助(約 126 時間)
近代資料編の初校・二校校正作業（約 700 時間）
調査協力員による調査補助
○ 翻刻作業
Ｒ９以降刊行予定の資料編に向けた翻刻作業（原稿用紙 2,500 枚分）
○ 執筆作業
Ｒ９刊行予定の資料編に向けた執筆作業（原稿用紙 250 枚分）

【 現代部会 】
○ 資料調査(旅費)
県内における集合調査、個別調査、県外における資料調査など
○ 資料調査（人件費）
県内大学生による資料撮影及び翻刻、データ入力・整理作業(約 2,800 時間)
集合調査時における県外大学院生による調査補助(約 28 時間)
○ 翻刻作業
Ｒ10 刊行予定の資料編に向けた翻刻作業（原稿用紙 300 枚分）
○ 執筆作業
Ｒ10 刊行予定の資料編に向けた執筆作業（原稿用紙 2,375 枚分）

【 民俗部会 】
○ 資料調査(旅費)
県内における集合調査、個別調査、県外における資料調査など
○ 資料調査（人件費）
県内大学生によるデータ入力・整理作業等(約 1,152 時間)
県内大学生による調査補助(約 180 時間)
民俗資料編の初校・二校校正作業（約 700 時間）
調査協力員による調査補助、部会への出席
○ 執筆作業
Ｒ９刊行予定の資料編に向けた執筆作業（原稿用紙 2,526 枚分）

【 考古部会 】
○ 資料調査(旅費)
県内における集合調査、個別調査、県外における調査など
○ 資料調査（人件費）
各調査等への調査協力員による調査補助
○ その他
活動事業講演など

【 文化財部会 】
○ 資料調査(旅費)
県内における個別調査など
○ 資料調査（人件費）
PDF 資料の PDF 化作業(約 384 時間)
調査協力員による調査等補助
○ 執筆作業
Ｒ10 刊行予定の資料編に向けた執筆作業（原稿用紙 3,000 枚分）

【 自然部会 】
○資料調査（旅費）
県内における調査など
○資料調査（人件費）
日々雇用職員による資料の撮影及び PDF 化作業（約 672 時間）
調査協力員による調査補助

３ 人材育成・広報啓発

・県の文化広報誌「とさぶし」や県の広報媒体を活用した、編さん状況や本県の歴史の魅力の発信
・調査成果物報告ニュースレター「ときのあかし」の制作
・郷土の歴史及び県史への関心を高めるための講演会を開催
・学校や団体等の要請に応じて、歴史に関する出前講座を実施
・県内の歴史系文化施設と連携し、資料調査隊の養成講座を実施